

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社  
 コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 櫻井 恵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 磯上 篤生

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日 配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	68,570	7.5	2,621	14.5	2,734	24.1	1,905	33.3
25年3月期第2四半期	63,812	9.5	2,289	4.1	2,203	5.9	1,429	16.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,675百万円 (158.8%) 25年3月期第2四半期 1,033百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	93.07	—
25年3月期第2四半期	69.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	66,192	34,764	52.2	1,686.67
25年3月期	66,579	32,683	48.8	1,587.27

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 34,531百万円 25年3月期 32,497百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	29.00	44.00
26年3月期	—	27.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	9.7	5,000	20.5	5,125	8.4	3,550	18.4	173.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,152,473 株	25年3月期	21,152,473 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	679,138 株	25年3月期	679,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,473,405 株	25年3月期2Q	20,473,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	12
4. 補足情報 .....	12
海外売上高 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、米国等の海外経済の緩やかな回復に円安効果も加わり、景気は持ち直しから回復傾向に転じました。

エレクトロニクス業界におきましては、猛暑の影響と消費者の省エネ志向も加わり、エアコンをはじめ白物家電の販売は好調でした。また、パソコンの販売は、ウィンドウズXPの保守終了を控え法人需要が堅調で、携帯電話は夏モデル商戦におけるスマートフォンの販売が好調でした。なお、電子部品等の生産も、スマートフォン向けを中心に堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォン等携帯電話関連の部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.5%増の685億70百万円となりました。

利益面につきましては、多様なスペックイン活動の成果により売上総利益も増加し、営業利益は、前年同期比14.5%増の26億21百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加し為替差益も計上したことから、前年同期比24.1%増の27億34百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が増加したことから、前年同期比29.6%増の27億40百万円となり、四半期純利益は、前年同期比33.3%増の19億5百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、いずれも第2四半期の業績としては、過去最高を更新しました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第2四半期連結累計期間における地域別販売状況（セグメント間取引の相殺消去前）の概要は、以下のとおりであります。

#### (日本)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比2.1%増の538億38百万円となりました。営業利益は、前年同期比27.7%減の10億16百万円となりました。

#### (中国)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比28.8%増の271億50百万円となりました。営業利益は、前年同期比117.0%増の11億74百万円となりました。

#### (その他アジア)

売上高は、「電気材料」の販売が増加したことから、前年同期比45.2%増の117億35百万円となりました。営業利益は、前年同期比22.7%増の2億52百万円となりました。

#### (欧米)

売上高は、「電子部品」の販売が増加したことから、前年同期比43.3%増の16億43百万円となりました。営業利益は、前年同期比0.5%減の36百万円となりました。

また、当社グループの当第2四半期連結累計期間における商品区分別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

#### (電気材料)

携帯電話用等のディスプレイ部品・材料の販売が増加した結果、売上高は前年同期比18.0%増の421億50百万円となりました。

#### (電子部品)

タッチパネル等の電気部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比0.1%減の130億63百万円となりました。

#### (機構部品)

アミューズメント用等の機構部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比21.9%減の69億67百万円となりました。

#### (その他)

携帯電話用等の関連部材の販売が増加した結果、売上高は前年同期比4.6%増の63億89百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億86百万円減少し、661億92百万円となりました。主な要因としましては、「受取手形及び売掛金」が増加したものの、「現金及び預金」及び「未収消費税等」が減少したこと等によるものであります。

負債は、314億27百万円となり、前連結会計年度末と比べ24億67百万円減少しております。主な要因としましては、「支払手形及び買掛金」が減少したこと等によるものであります。

純資産は、347億64百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億81百万円増加しております。主な要因としましては、「利益剰余金」及び「為替換算調整勘定」が増加したこと等によるものであり、自己資本比率は、52.2%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が18億50百万円減少し、109億43百万円となりました。

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、19億93百万円となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が27億40百万円、売上債権の増加による資金流出が4億円、仕入債務の減少による資金流出が30億67百万円、法人税等の支払による資金流出が9億74百万円であります。

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、1億71百万円となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による資金流出が56百万円、無形固定資産の取得による資金流出が87百万円であります。

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、1億27百万円となりました。主な要因としましては、短期借入金の増加による資金獲得が4億65百万円、配当金の支払による資金流出が5億93百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内の景気は、消費税増税前の駆け込み需要、政策効果による公共投資の伸び及び雇用者所得の持ち直しによる個人消費の緩やかな回復も見込まれ、さらに米国経済の回復基調と円安による輸出の増勢も加わり、景気は回復を続けるものと思われまます。

国内のエレクトロニクス業界は、スマートフォンや省エネ家電への買い替えが続くものと考えられます。また、スマートフォン等に使用される電子部品等の生産も堅調に推移するものと思われまます。

海外においては、米国の景気は家計部門を中心に回復が継続し、欧州は景況感の改善等で景気は持ち直しを続けるものと思われまます。一方中国は、輸出の回復が見られるものの、景気減速による個人消費の伸びの鈍化も予想されます。エレクトロニクス製品の販売は、新興国での生活家電の需要と、世界的なスマートフォン需要により下支えされるものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは、引き続きスマートフォン等携帯電話関連の部材の販売活動に努めるとともに、成長が見込めるアジア地域での販売を強化し、さらなる収益機会の獲得をめざします。

以上を踏まえ、平成26年3月期の連結業績予想に関しましては、売上高を1,420億円と予想しております。利益面につきましては、営業利益50億円、経常利益51億25百万円、当期純利益35億50百万円を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社は、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社の有形固定資産は、拠点の建物設備や備品が大半を占めており、使用状況及び修繕状況を見直した結果、その投資の効果や収益への貢献度合いは平均的かつ安定的に発現すると見込まれます。当社は、定額法への変更を行うことにより、減価償却費を耐用年数にわたって均等配分することで、期間損益をより適正に表すものと判断いたしました。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,793	10,943
受取手形及び売掛金	40,168	41,825
たな卸資産	6,538	6,542
未収消費税等	1,337	847
繰延税金資産	369	325
その他	577	782
貸倒引当金	△287	△214
流動資産合計	61,497	61,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,429	2,455
減価償却累計額	△1,630	△1,676
建物及び構築物（純額）	798	778
機械装置及び運搬具	812	922
減価償却累計額	△471	△567
機械装置及び運搬具（純額）	340	354
土地	1,663	1,663
その他	610	624
減価償却累計額	△442	△455
その他（純額）	167	169
有形固定資産合計	2,970	2,966
無形固定資産		
ソフトウェア	250	242
その他	45	38
無形固定資産合計	295	280
投資その他の資産		
投資有価証券	455	561
繰延税金資産	217	237
保険積立金	332	381
投資不動産	401	396
その他	489	403
貸倒引当金	△80	△86
投資その他の資産合計	1,816	1,894
固定資産合計	5,082	5,140
資産合計	66,579	66,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,491	28,736
短期借入金	—	465
未払法人税等	912	757
賞与引当金	222	437
役員賞与引当金	—	33
関連会社整理損失引当金	86	86
その他	2,002	766
流動負債合計	33,716	31,283
固定負債		
退職給付引当金	79	75
その他	99	69
固定負債合計	179	144
負債合計	33,895	31,427
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	28,180	29,492
自己株式	△694	△694
株主資本合計	32,964	34,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	94
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	△509	162
その他の包括利益累計額合計	△467	255
少数株主持分	186	233
純資産合計	32,683	34,764
負債純資産合計	66,579	66,192



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	63,812	68,570
売上原価	57,378	61,378
売上総利益	6,433	7,192
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,422	1,470
役員報酬	111	98
運賃及び荷造費	522	594
法定福利費	217	237
旅費及び交通費	254	320
減価償却費	84	88
賞与引当金繰入額	357	423
役員賞与引当金繰入額	33	33
退職給付費用	117	110
貸倒引当金繰入額	14	83
その他	1,011	1,110
販売費及び一般管理費合計	4,144	4,570
営業利益	2,289	2,621
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	6	2
負ののれん償却額	63	—
貸貸収入	48	47
為替差益	—	60
その他	13	19
営業外収益合計	142	137
営業外費用		
支払利息	0	4
持分法による投資損失	27	—
貸貸費用	12	11
為替差損	167	—
その他	20	8
営業外費用合計	228	25
経常利益	2,203	2,734
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
投資有価証券評価損	77	—
出資金売却損	11	—
子会社清算損	1	—
特別損失合計	89	—
税金等調整前四半期純利益	2,114	2,740

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
法人税等	698	817
少数株主損益調整前四半期純利益	1,415	1,922
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13	16
四半期純利益	1,429	1,905

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,415	1,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	48
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	△341	700
持分法適用会社に対する持分相当額	4	—
その他の包括利益合計	△381	752
四半期包括利益	1,033	2,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,043	2,628
少数株主に係る四半期包括利益	△9	46

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,114	2,740
減価償却費	119	132
子会社清算損益(△は益)	1	—
投資有価証券評価損益(△は益)	77	—
負ののれん償却額	△63	—
出資金売却損	11	—
持分法による投資損益(△は益)	27	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△90
受取利息及び受取配当金	△17	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△4,792	△400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△210	260
仕入債務の増減額(△は減少)	1,779	△3,067
未収消費税等の増減額(△は増加)	262	490
その他	△126	△1,079
小計	△804	△1,026
利息及び配当金の受取額	17	10
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△714	△974
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,501	△1,993
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△91	△56
無形固定資産の取得による支出	△26	△87
投資有価証券の取得による支出	△9	△47
投資有価証券の売却による収入	—	14
出資金の回収による収入	57	—
投資不動産の賃貸による収入	37	35
貸付けによる支出	△200	—
貸付金の回収による収入	117	0
保険積立金の積立による支出	△50	△48
その他	27	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△171
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70	465
配当金の支払額	△510	△593
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580	△127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△163	443
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,382	△1,849
現金及び現金同等物の期首残高	12,735	12,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,352	10,943

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	40,400	15,746	6,600	1,065	63,812	—	63,812
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,353	5,330	1,483	82	19,249	(19,249)	—
計	52,753	21,076	8,084	1,147	83,062	(19,249)	63,812
セグメント利益	1,405	541	205	36	2,189	99	2,289

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………USA、チェコ

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	34,455	22,974	9,599	1,540	68,570	—	68,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,382	4,175	2,136	103	25,797	(25,797)	—
計	53,838	27,150	11,735	1,643	94,368	(25,797)	68,570
セグメント利益	1,016	1,174	252	36	2,480	141	2,621

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………USA、チェコ

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	17,905	8,299	1,002	27,206
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	63,812
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	28.1	13.0	1.6	42.6

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	24,471	13,090	1,770	39,332
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	68,570
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	35.7	19.1	2.6	57.4

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア